



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42
カトリック鹿兒島司教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行人 末吉卓也
1部60円年間7共1100円

教会のこよみ					
29日	27日	24日	18日	13日	6日
聖ペトロ・聖パウロ使徒	聖ペトロ使徒座への献金	年周第三主日	洗礼者聖ヨハネの誕生	イエスのみ心	三位一体の主日

「世界広報の日」司教メッセージ

【要旨】

系永司教は五月十六日の世界広報の日(当たり、全教区民に向けてメッセージを発表した。この中で司教は次のように述べている。

司教メッセージ

教会はマスメディアの重要性を教えているが、教区としてもメディアを司牧・宣教のために最大限活用しなければならぬ。

インターネットの時代を迎えた。私は教区独自のホームページを開くよう教区広報部に指示しているが、教区報など新聞の果たす役割は今なおおきわめて重要である。現在、教区レベルの広報メディアは教区報ただ一つ。教区報による情報伝達が十分に行われなければ、教区における一体化した宣教活動は停滞する恐れがある。

教区報は世論を盛り上げて教区を活性化するための不可欠の手段である。教区は司教を中心として一つに集められ、協力して福音宣教を果たすべき使命を帯びた共同体である。教区の一体化と協力関係は教区の

最重要課題である。この課題を実現するための多くの手段の中で、教区報の果たす役割はきわめて重要である。そのためには教区本部から与えられる情報はかりでなく、教区内のすべての小教区や信徒団体、そしてカトリック学校や社会福祉施設などからの情報を数多く掲載して紙面を魅力ある豊かなものにする必要がある。教区報の発展のために協力して欲しい。

今年度初めてのコンベンツ(定例司教会議)が五月十八日(火)開かれた。これまで会場にはカテドラル一階ホールが使われていたが、今回初めて、昨年十一月に完成した教区本部棟会議室で行われた。

議事は、十一月に開かれる教区評議会の議題や進め方などが中心。四月に開かれた司教評議会総会の報告から、教区が抱える重要課題は、共同体の交わりの促進、信仰の養成、秘跡による恵みを生かすの三点。この重要課題をもとに教区評議会の議題を「小教区の活性化」とすることとなった。評議会参加者に十分な

教区評議会を成功させよう

—五月のコンベンツ—

「教え」のページとして教理のやさしい解説、時事解説、典礼(霊的)生活指針など。二面は地区や小教区、各信徒団体や諸事業などのニュースなど。四目は「文化・教養欄」として、信者としての教養を高め、信仰生活に潤いを与える内容を掲載することとする。

この紙面構成はこれまでと違いはない。皆様には、掲載して欲しい記事や知りたいニュースなど積極的に編集部に提供したり要望していただきたい。目立つ行事ばかりでなく、日常的な活動であってもその姿が共同体に信仰を生きる力を与えている人たちが、また、喜ばしいことばかりでなく、困っていること、協力を求めていることなどがあれば知らせて欲しい。

準備をしてほしいとの意向から、議題についての簡潔な資料を夏頃までには送付する。各小教区で十分な準備をしたうえで、当日は分団会形式で討議してもらおう。参加者は、通常のメンバーの他に、地区長、助任司教、兼任カテキスタ(専任がない場合はもう一人信徒代表)。各小教区一律三人では小教区の実情が十分伝わらないのではなにかとの意見が出されたが、これについて司教は「参加者は、小教区を代表して、意見を総括したうえで参加してほしい。代表者個人の意見を出す場ではない」と答えた。また、前晚には、参加者同士の交わりの時間をもつて翌日の冒頭から本格的な討議ができるような雰囲気を作りたいとする考えが示された。

今回のコンベンツで、教区評議会は十一月二日(火)の夜から三日(水)にかけて開くという方向は見えてきた。前晚に基調講演を設けること、若者の参加のために特別枠を設けることなどの要望が出された。

高松・新潟両教区に新司教

教皇ヨハネ・パウロ二世はローマ時刻五月十四日正午、フランシスコ・ザビエル溝部司教(現仙台教区司教)を高松教区司教に、またタルチシオ菊池(現神父(現神言修道会日本管区長))を新潟教区司教とすることを発表した。また新司教の叙階式並びに着座の日程等は、現在、未定。

維持費納入に理解を!

教区財務委員会

五月二日(日)午後、教区本部で教区財務委員会が開かれ、教区会計および神学生養成費の過年度決算、今年度の予算案が審議された後、ともに了承された。

その席で財務委員たちは、教区費収入の減少に対して、小教区での教会維持

なで支えるもの(交わり)だが、そのひとつに財政的支えを含むことの認識の必要、特に若い世代にその責任の自覚を養う必要性などが話し合われた。

財務委員会の終わりに、系永司教は「教区がこれまでやって来られたのは、多くの教区民の協力のおかげであり、心から感謝している。これからもよろしくお願ひしたい」と述べた。

役目を果たし

経営を移譲

老人ホーム三宝園

一九九四年以来有馬師を理事長にカトリックの信徒有志が企画してその運営にかかわり、教区長の指導のもとカリタス鹿兒島も側面から援助してきた養護老人ホーム「三寶園」は、財政上の問題で今年一月から経営母体が変わり、教区の手を離れることになった。

入園している老人たちが元経営者の不正と悪質な使い込みによって困っているのを、困難を承知で救済に努力した有馬師たちの努力は、これ以上の犠牲を防ぐ意味でその使命を果たしたといえる。

が、これについての取り扱いは教区評議会事務局に一任することが了承された。

その他に「ニケア・コンスタンチノープル信条」と「使徒信条」の改訂口語文の使用について説明があり、この信条を印刷したカードが配布された。今後、公式の典礼においては、この改訂口語文を使用することになる。

最後に六月二十日開催の班長研修会について、各小教区において班で行える地域活動について話し合ってきた。話し合ったのは、司教、専任あるいはボランティアのカテキスタにぜひ読んでもらいたい。できれば信徒のリーダーにも読んでもらいたい」と希望を述べた。

「成人の要理教育」を翻訳配布

教区本部企画推進室は、「成人の要理教育」を發行

新校長にSr.長谷崎 鹿兒島純心学園

一九九二年から学校長を務めた前川満子修道女に代わって、長谷崎富子修道女が鹿兒島純心女子中学・高等学校の校長に就任した。

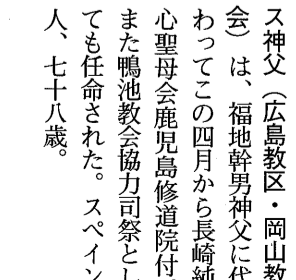
司祭の消息

▼ヨゼフ・ムイベルガ神父(レデンプートル会・谷山教会主任)は五月十日から十月二十九日まで休暇のため帰郷。留守番は大松正弘神父。

教区人事

▼ペレス・レデスマ・ルイ

ス神父(広島教区・岡山教会)は、福地幹男神父に代わってこの四月から長崎純心聖母会鹿兒島修道院付。また鴨池教会協力司祭としても任命された。スペイン人、七十八歳。



5年生カリキュラム

Table with 5 columns: 典礼行事, 月, テーマ, 回, 内容, その他. It details the 5th grade curriculum with themes like 'イエスは神がともにおられたので、よいわざを行われた。' and 'キリストは苦しみをうけて、それから栄光に入る'.

6年生カリキュラム

Table with 5 columns: 典礼行事, 月, テーマ, 回, 内容, その他. It details the 6th grade curriculum with themes like '秘跡について' and '終末論'.

五・六年教会学校カリキュラム

このカリキュラムは、いつ何を学ぶかを示しただけで、どんな教材を使って、どのように教えていくかを示したものではありません。

ス 六年間のカリキュラム(オリエンス宗教研究所)を基にしたものです。この本には、各学年における子どもたちの特徴、各時間における留意点、指導目標、内容展開などが説明されていますので参考にしてください。



<KABAYAN SEKSIYON>

"BUWAN NG MAYO... PAGDIDIBOSYON SA MAHAL NA INA"

Buwan na naman ng Mayo mga Kababayan!! Mayroon ba kayong naalala sa buwan na ito? Para sa ating mga Pilipino, kahit nasaan man tayo o hindi man tayo nasa Pilipinas, ang buwan ng Mayo ay may kahulugan at mahalaga. Bakit makahulugan at mahalaga ang buwan ng Mayo? Unang-una, ang buwan ng Mayo ay tinatawag nating "Flores de Mayo" o buwan ng bulaklak. May relasyon ito sa "Pagdidibosyon natin sa Mahal na Birhen". Bakit? Dahil nag-aalay tayo ng magagandang bulaklak para sa Mahal na Birhen. Sa pag-aalay natin ng bulaklak ay ipinapakita natin ang paggalang sa Mahal na Birhen, bilang Ina ni Kristo, at Ina ng Simbahan. Kaya sa pag-alay natin ng bulaklak ay ipinapakita natin ang pagmamahal sa Mahal na Birhen. Ang pagbibigay galang ng Simbahan sa Mahal na Birhen ay likas na pagsamba ng kristiyano. Ang Simbahan ay nagbibigay parangal sa Mahal na Birhen ng tanging paggalang. Sa matagal na panahon, ang Mahal na Birhen ay binigyan ng mataas na parangal bilang "Ina ng Diyos" ng lahat ng mga nanampalataya na ipinararating nila ang kanilang mga hinaggis at pangangailangan. Kaya kung nag-aalay tayo ng bulaklak sa Mahal na Birhen ay ipinapakita natin ang ating paggalang at pagmamahal sa kanya at ipinararating natin ang ating mga dasal at hinihingi natin ang kanyang tulong. Kaya mga kababayan, kung tayo pumupunta o bumibisita sa simbahan sa buwan ng Mayo ay huwag natin kalimutan na mag-alay ng bulaklak sa Mahal na Birhen. Ang buwan ng Mayo ay natatangi, subalit kahit anong buwan o araw ay pwede tayong mag-alay ng bulaklak sa Mahal na Ina.



Fr. Dino A. Orolfo

tel/fax 09972-2-0423

keitai: 090-2085-1094

今月の暦

(6月)

- 1日(火) 面縄教会献堂記念日(一九六一年)
2日(水) 教区本部会議・教区本部・10時
6日(日) カトリック北薩大会・大口明光学園・10時
10日(木) 鹿兒島カトリック教区報創刊(一九六二年)
13日(日) 志布志教会聖信式・志布志教会・10時
15日(火) フィリピン神父(鹿屋) 叙階記念日(一九九七年)
19日(土) 喜界島教会献堂記念日(一九八二年)
20日(日) 班長研修会・ザビエル教会・13時
24日(木) ザビエル一行マラッカを出航(一五四九年)
25日(金) 山口重義神父(阿久根) 叙階記念日(一九七二年)
27日(日) 大口教会聖信式・大口教会・9時
28日(月) 教区司祭会・司教館・16時
29日(火) コンベントゥス・カテドラル・10時
7月
7日(水) 教区本部会議・教区本部・10時
13日(火) 司祭評議会総会・教区本部・10時
7月
7日(水) 教区本部会議・教区本部・10時
13日(火) 司祭評議会総会・教区本部・10時
▼糸永司教霊名の祝日 パウロ(郡山健次郎神父、有馬信茂神父、小隈憲士神父) ペトロ(竹山昭神父、美島春雄神父、永山幸弘神父)
▼ムイベルガ神父(谷山) 叙階記念日(一九六九年)

カトリック北薩大会

日時: 6月6日(日) 10時
場所: 大口明光学園
内容: 10時半 開会行事
11時 司教ミサ
13時 アンサンブル
13時半 講演
14時半 閉会行事
講師: 沼野尚美(六甲病院) 緩和ケアホスピス病棟チャプレン
演題: 愛はイエスさまの安らぎを運ぶ器

カバイヤン セクション(概要)

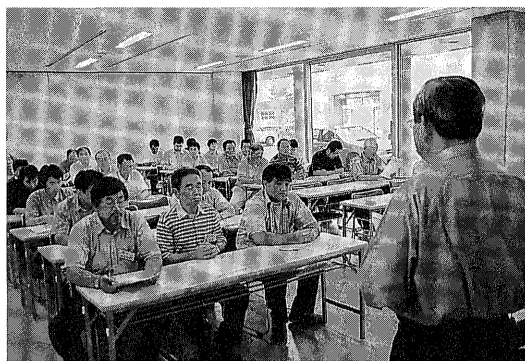
五月は花の月と言われます。この五月の美しい花を私たちはマリアにささげ、「キリストの母」「教会の母」として崇敬します。そして信者たちはあらゆる危険に際して、そのご保護を求め避難します。その聖マリアに五月だけでなく、一年を通して美しい花をおささげするようにしましょう。

宣教活動を掲げた活動に挑戦

鹿児島カトリック連合壮年会

鹿児島カトリック連合壮年会では、五月十六日(日)午後五時から今年度の総会を開催し、新役員を

発表するとともに、今年一年「宣教活動」を念頭に置いて活動に挑戦するなど申し合わせた。



永山神父の話を熱心に聴く壮年たち

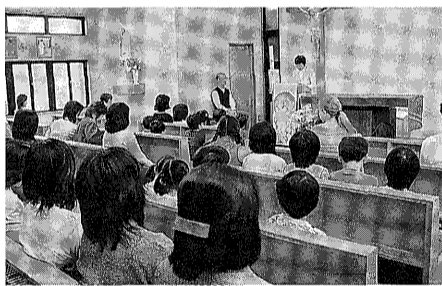
鹿児島市内にある六つの教会から組織される鹿児島カトリック連合壮年会では、ここ数年、活動が活発化するなど会の充実が見られる。これには会員の意気込みもあることながら、定期的な開かれる幹事

神様のことを伝えたい

吉野教会が教会学校を再開

この四月から一年余り休校になっていた吉野教会教会学校がレデンプトール宣教修道女会の協力で再開された。

- 会長 佐々木正光(ザビエル)
- 副会長 徳永善博(紫原)
- 書記 山田一美(ザビエル)
- 有川弘文(玉里)
- 会計 高竿寛美(吉野)
- 監査 山下和美(紫原)
- 本村裕之(谷山)



(内幼稚園児十七人。毎月第一、第三、五曜日の午前十時から昼までの教会学校に

短信

▼玉里教会「夕べの祈り」
玉里教会(サンタマリア神父)では、今年の四旬節から毎月第一火曜日の夜、夕べの祈りを実施する

▼夜回り会ミーティング
ホームレスの方々への奉仕活動への取り組み開始から二か月を経過したザビエル教会では、四月二十八日(水)夜回り会ミーティングを開き、現状を報告し今後の活動の糧とした。

この日の記念ミサにはシスターの妹と弟夫婦も駆けつけ、会員とともに喜びを分かち合った。



Sr.松下の誓願宣立五十年を祝う 聖血礼拝修道女会ヨゼフ修道院

教区の活動を祈り支えている聖血礼拝修道女会ヨゼフ修道院(始良郡溝辺町有川一〇七)で、五月七日(金)修道誓願宣立五十年の記念ミサが糸永司教によってさげられた。修道誓願宣立金祝を迎えられたのはシスター松下敏子(東京都出身)。

同会茅ヶ崎修道院で誓願を立て、一九七〇年八月に院長として鹿児島(当時は霧島修道院)へ移られた。それから三十四年間、観想修道会の中で教区の宣教活動の実りのために祈り続けておられる。

「祈りのうちに半日は農婦、半日は袖織りで生計を立てる生活でした。ずいぶん汗を流しましたが、その日々の労苦が鹿児島教区の恵みの雨となってくれたことを願っています。現修道院には一九七五年十月から任せし、一日一日を修道会創立者のモットー(礼拝すること、償うこと、苦しむこと、真実、堅実、寛大であること)を生きていくことに喜びを感じています」と語ってくださった。

会場で伝えるようにと示唆を与えた。その後はミサで、今年度の活動の充実を祈り散会した。

こととした。祈りは午後七時から始められ、終わりに聖体降福式で締めくくられる。

活動や会計に関する議事のほかにこの日は、会員減少についての分かち合いが行われたほか、今年度から同会の顧問司祭になった小隈憲士神父の講話があった。

講話の中で小隈神父は、かかわりなしに生きていけない人間の存在、そしてかかわることしか伝えられない福音について説明し、すべての命が愛され、生かされているという喜びを杜

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

信徒の会(平野博美会長)

今年度の総会

鹿児島カトリック女性

ザビエル様と親しもう

(A)

実行委員会より:ザビエル上陸記念祭が行われる八月十五日は、聖母被昇天の祭日であり終戦記念日でも

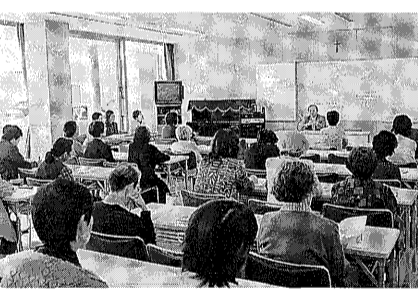
エル様を通して教会に再び導かれたのでしよう。二人の兄にとっても私たちが家族にとっても生涯忘れられない「四五〇年祭」です。そういう意味でもあの時の熱き心の火種は、私たちの心の中で今も燃え続けているのだと思います。ザビエル様は私たちの中で確かに生きています。

教会の鐘楼に「ザビエル上陸記念祭」の垂れ幕が下がります。その垂れ幕を見かけたら「八月十五日、みんなで行ってみるか」と誘い合ってください。ザビエル様とのかかわりを深め親しむことで、ザビエル様を通して少しでも神様に近づける一つのきっかけになるのではないのでしょうか。(吉岡望)

ザビエル様は、私たちにどうして本当に身近な存在にならなければならないのか? 「ザビエル渡来四五〇年祭」の時ザビエルの熱き宣教魂に倣おうと誓いを新たに燃えさせた私たちは、燃え尽きてしまっただけでしょうか?

あの「四五〇年祭」のすべての行事が終わわり、多少の疲れと興奮と心地よい充実感の中で夜遅く親兄弟たちと集まり、分かち合いをし、感動の涙を流した事を今でもはつきり覚えています。その時教会を長く離れていた二人の兄が東京から帰ってきて「四五〇年祭」に参加し、その後東京に戻った彼らは教会に通うようになりました。彼らはザビ

ところでザビエル様の誕生日の四月七日は私の次女の春香の誕生日と一緒で、亡くなられた十二月三日は、奇しくも養父の命日と同じです。こじつけでも何でもいいからザビエル様とのかかわりを探してみるのが面白いのではないのでしょうか。七月になるとザビエル



今年度の総会
鹿児島カトリック女性
信徒の会(平野博美会長)

本土地区班長研修会

日時: 6月20日(日) 13時
場所: 鹿児島カテドラル
対象: 本土地区の主任司祭と協力ないし助任司祭、班長と副班長、その他の評議員
テーマ: 宣教的な班活動の推進
申込: 永山幸弘神父(ザビエル教会)
締切: 6月15日(火)
内容: テーマの説明、分団会での分かち合い、分団会の発表、奨励、共同司式ミサ

乙女峠祭で殉教者を偲ぶ

玉里教会 門田 明

五月二日(日)から三日(月)津和野の乙女峠祭があり、鹿兒島からも小川靖忠神父さまをリーダーに十数人の信者が参加した。



一日には前夜祭が催され、「テゼ」と呼ばれる分ち合いの交流会があった。記憶しやすい短い祈りを、静かに繰り返し繰り返して歌いながら、次々に言葉を進めてゆく。心に染み入る黙想であった。三日、日本各地から集まった

する。それをきつかけに、若草が春を感じ、雪をかきわけ一斉に芽を吹くように、何千人という潜伏信徒が名乗り出始めた。まだ禁教の時代である。当然弾圧が始まる。明治に入ってもそれは終わらなかつた。一八六八年七月、最後の迫害があり、百四十人の信徒が捕縛され、各地に配流された。津和野の光琳寺に収容されたのは、その内の二十数人である。流刑者の生活については、結城了吾他「最後の迫害」、高木慶子「高木仙右衛門 覚書の研究」、大仏次郎「天皇の世紀」などに詳しいが、言葉に絶する迫害の中で、ほとんどの者が信仰を貫き通す。津和野では厳冬下、雪の中に埋められ、池に投げ込まれ、また三尺牢と呼ばれる方三尺

の檻に詰め込まれたり、何人かが殉教する。城の越のヨハネ・バプティスタ安太郎も三尺牢の一人であるが、抜け穴をくぐってきた仲間が「一人で寂しかろう」というと「否少しも。毎晩夜明けまで、それはきれいなきれいな、十七、八歳くらいの方が、頭の上に頭れて、お優しいお声でい

ろいる慰めて下さいます。サンタマリア様のように思うのです」と答える。このことは今に言い伝えられ、乙女峠のマリア堂に記念されている。この迫害は世界中に知らされ、明治日本は信教の自由のない野蛮国と評されて、関税自主権の回復と治外法権撤廃の交渉の大きな

障碍となつた。フランスでは議会の問題にさえなり、やがて国際世論の前に迫害は終わる。乙女峠の頂の広場で、三尺牢の模型とマリア像の前に立ち、これを考えあれを思いつつ、声を限りに聖歌を歌い、往時を偲び、信仰の勇者を讃えるのであった。

きると聞いて驚いた。教会は、パイプオルガンを「心を神と天上のものへ高く揚げる伝統的楽器」として大切に尊重するよう教えている(典礼憲章一〇番)。娘の生活を熱く込めて話されるお母さんのお話を伺いながら、オルガニストも、神と人との仲介をしているのだと思つた。ザビエル教会のオルガンは、まだ生ま

パイプオルガンに想う

ある訪問者との出会いから

ある日、関西在住の二組の夫婦がザビエル教会を訪れた。娘がパイプオルガンの勉強をしているので、見せていただきたいとのこと。単身でドイツに留学して今年で七年目になるといふ。この家族は信者ではない

が、娘さんに小さい時からカトリック教会とのつながりがあったらしい。私は、簡単にパイプオルガンを見せてあげただけでいいだろうと思つたが、このお母さんのお話を伺つて自分の教養のなさを恥じるとともに、感動した。一つひとつのオルガンは、パイプの本数やストップ(特定の音質のパイプ群だけを自由に使えるように、不要なパイプに栓をして送風を止める装置・音栓)の数も違つて、それぞれオルガンには個性がある。オルガニストには、それぞれのオルガンを持つ良さを引き出す能力が

求められるとのこと。また、パイプオルガンは、三百年から五百年は生きる。ドイツの、ある古い教会のオルガン奏者の椅子は木製だが、座るところがへこんでいるとか。オルガニストとしての歩み方はいろいろあるが、娘は、各地にあるオルガンと数多く出合つて腕を磨くことを望んでいる。現在、ある高名なオルガニストに師事しながらいくつかの教会でミサの典礼奉仕をしている。練習は、夜間しかできず、夜一人で帰宅するのは危険なため、朝まで教会堂内で過ごすとのこと。娘はこの夏帰国するので、このオルガンを弾く機会を与えてもらえないかとのことだった。

三百年から五百年も生きるという驚いた。教会は、パイプオルガンを「心を神と天上のものへ高く揚げる伝統的楽器」として大切に尊重するよう教えている(典礼憲章一〇番)。娘の生活を熱く込めて話されるお母さんのお話を伺いながら、オルガニストも、神と人との仲介をしているのだと思つた。ザビエル教会のオルガンは、まだ生ま

文芸

短歌 (思川短歌会作品)

鹿兒島 前田儀子

静かなる想ひの底に修道女目指し
つ過ぎし妹愛し

亜麻衣に包まれし主の面影おもふ
水雨降りつぐ夜半に目覚めて

〔評〕「静かなる想ひの底に」も「亜麻衣に包まれし」の表現も、敬虔な祈りの姿で尊い。

出水 遠竹睦郎

逝きし母の書架を開けば教会への
想ひを書きしメモの出でけり

〔評〕深い信仰を示された母への
思いが絆となつて佳作

大口 森 博伸

哀しきは御旨のままにとゆだねえ
ぬ思いを残して祈るころよ

〔評〕信仰は自我の棚田道を登る

如き故に主との絆を意識する
佳作

名瀬 林 明子

ロザリオの言葉をききまむねの中
天使のコーラスきこえてきたよ

〔評〕呼びかける「口語短歌」の
したしさが、日々の祈りとなつていてよい。

鹿兒島 春山マリ子

主を仰ぎ心一つに祈る時喜びとな
り嬉しきとなり

〔評〕「心一つに祈る時」に作者の
深い祈りの姿が浮かぶ深遠な歌

古仁屋 豊島忠司

「祈りなき祈り続けなき」と
言ふ優しさをもちシスターが行く

〔評〕清純なシスターを詠み得た歌

阿久根 中津濱フサエ

煌々と光る航路を追ふごとく白帆
が二つ見え隠れしつ

〔評〕心に染みる豊かさ静寂を

詠み得た一首

鹿兒島 田平新太郎

抱かれしイエスの瞳やさしけり
だく聖母の笑顔も清し

〔評〕愛に満たされた作者の真心
が伝わってくる作

鹿兒島 本城 愛

楠萌える生目の杜の静寂かな
五月晴聖母の像の愛しけり

〔評〕「杜のしじま」の表現がよい。
「愛しけり」に深い祈りが伝わる

出水 遠竹睦郎

友見舞う共に祈るや夏の宵
うららかな司祭の講座糧となる

〔評〕「共に祈るや」の表現がよい。
麗らかな司祭の声が響いてく

名瀬 松畑義弘

口笛に風誘はるる若葉かな
風鈴の一点の音徹りけり

〔評〕口笛や風鈴が聞こえてくる
清々しい作

鹿兒島 春山マリ子

病む足をほどよくみし友に謝意
主の愛に心満たされ宵寝かな

〔評〕心に染みる豊かさ静寂を

〔評〕愛に満たされた作者の真心
が伝わってくる作

鹿兒島 本城 愛

楠萌える生目の杜の静寂かな
五月晴聖母の像の愛しけり

〔評〕「杜のしじま」の表現がよい。
「愛しけり」に深い祈りが伝わる

出水 遠竹睦郎

友見舞う共に祈るや夏の宵
うららかな司祭の講座糧となる

〔評〕「共に祈るや」の表現がよい。
麗らかな司祭の声が響いてく

名瀬 松畑義弘

口笛に風誘はるる若葉かな
風鈴の一点の音徹りけり

〔評〕口笛や風鈴が聞こえてくる
清々しい作

鹿兒島 春山マリ子

病む足をほどよくみし友に謝意
主の愛に心満たされ宵寝かな

〔評〕心に染みる豊かさ静寂を

鹿兒島 龍門司真人

吊橋にゆらりゆらりて綾の溪谷
添削も祈りとなりぬ聖母月

〔評〕心に染みる豊かさ静寂を

集いのお知らせ

◆ 絶えざる御助けの聖母への9日間のノベナの集い 6月19日(土)~27日(日)まで 毎日19時から 場所 聖母寮聖堂 ※オランテの集いは6月26日(土)10時~15時 ★TEL099-253-6658 (聖母寮)

◆ スピリチュアルケア研修会 7月4日(日)9時30分~16時30分 県文化センター3階第6会議室 研修費3,000円 ★TEL099-282-2926 (奥村)・0993-22-6524 (福沢)

◆ 教皇の聴罪司祭の指導による黙想会 8月23日~26日 浦上教会(長崎市) 参加費 自由献金 イエス・キリストに招かれて「イエスは「来なさい、そうすれば分かる」と言われた—指導/ラニエロ・カンタラメッサ神父(カプチンフランシスコ修道会)=1980年から教皇聴罪司祭及び教皇担当説教者 ★TEL092-541-6207 (カトリックファミリー)

思川短歌会・俳句会

あなたの祈りの短歌、俳句を毎月3首、3句以内を書いて会宛にお送りください。

〒890-0064 鴨池新町3-5-402

田平新太郎方 (TEL099-255-4261)

思川短歌会 思川俳句会